

者さんの自己管理が重要となります。当クリニックでは、以下のように患者さんへの指導と術後の対応を実施しています。(囲み記事P7「手術前後の患者さんへの対応について」参照)

### (1)手術前

バイポーラ凝固治療の決まった患者さんに、看護師から手術の概要及び手術前の留意点を説明。

### (2)手術当日以降

- ・術後に後出血を避けるための食事内容の注意等について看護師から説明し、生活上の注意をまとめたリーフレットを配布。
- ・患者さんからは手術当日の夕方に電話連絡をいれてもらう。これは、痛み、出血、腫れ等の患部の状態を確認するため、及び患者さんの自己管理に対する意識を確認することを意図している。(連絡のない患者さんの2回目以降の手術を断る場合がある)
- ・遠方の方など、患者さんに別のかかりつけ医がいる場合は、手術を実施した旨の書状を作成して患者さんに託し、後出血や感染、疼痛等の場合への対応をお願いしている。

#### ■術後の対応を依頼する書面

耳鼻咽喉科主治医先生

患者 \_\_\_\_\_ 殿につきまして、

\_\_\_\_月 \_\_\_\_日、当院外来にて、口蓋扁桃切除手術(ラジオ波凝固治療)を施行致しました。

術後出血、感染、疼痛などの問題が生じた場合に受診されることあるかと存じます。その際には、よろしくご処置いただきますようお願い申し上げます。なお、その際には臨床経緯などご連絡をいただけます幸いです。また、ご不明な点などございましたら、下記までお問い合わせ下さい。

〒152-0035  
東京都目黒区自由が丘1-29-14 J-フロントビル3F  
笠井耳鼻咽喉科クリニック 笠井創  
TEL: 03-5729-4167 FAX: 03-5729-4188  
URL: <http://www.linkclub.or.jp/~ontknsai>  
E-mail: [ontknsai@air.linkclub.or.jp](mailto:ontknsai@air.linkclub.or.jp)

## バイポーラ凝固治療への期待と今後への課題

当クリニックで実施しているCelonENTを使用した扁桃へのバイポーラ凝固治療においては、その十分な扁桃縮小効果により扁桃肥大及び膿栓症に高い治療効果をもたらしています。これは従来、摘出以外に手術治療の選択肢がほとんどなかった扁桃疾患に対して、外来で手術が可能という簡便性及び患者さんの負担の軽減と高い安全性を併せ持った有効な治療法として注目すべきものといえるでしょう。

また、扁桃炎へのバイポーラ凝固治療については、大学病院等の大規模施設における臨床研究によって治療効果のエビデンスが確立され、確かな根拠のもとに患者さんにお奨めできるような環境が早く実現することが待ち望まれます。

これまで扁桃治療に関しては、咽頭反射や迷走神経反射などの複雑な反応を示すことから、外来で対応することを避ける傾向が少なからず見られたように思います。しかし、当クリニックの実績が示すように、扁桃の疾患で悩む患者さんの治療への潜在ニーズは大きなものがあり、耳鼻咽喉科医はそれに応えることが期待されています。CelonENT等、近年登場した機器によって扁桃のバイポーラ凝固治療がより身近になった今、これを広く普及させることは、患者さんに満足度の高い医療を提供する上で非常に意義の大きなものといえるでしょう。

## 膿栓症に対するバイポーラ凝固治療

口蓋扁桃の腺窩あるいは陰窩に形成される膿栓は、健康上で悪影響を及ぼすことはほとんどないと考えられますが、口臭や咽頭の不快感等の症状をもたらし、この改善を望まれる患者さんが非常に多くいらっしゃいます。これまで膿栓症に対しては吸引除去や腺窩洗浄の保存的治療が外来で行われてきましたが、これらは根治的な治療でなく繰り返し行う必要がある上、咽頭反射が強い患者さんには実施できません。一方、膿栓症で扁桃摘出を望んでも、その理由だけで摘出を行う医療機